

数 学

(100 点 60 分)

注 意 事 項

1. この問題冊子は全部で 4 ページである。落丁, 亂丁, 印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
2. 解答には黒鉛筆を用い, ボールペン, 色鉛筆, 万年筆などを使用してはならない。
3. 解答用紙はマーク式解答用紙 1 枚である。
4. 解答用紙の指定欄に座席番号(数字), 氏名を記入し, さらに, 座席番号をマークすること。
5. 誤ってマークした場合は, 消しゴムで完全に消してからマークしなおすこと。
6. 一つの解答欄に二つ以上マークした場合, その解答欄の解答は無効となる。
7. マーク式解答用紙は, 折り曲げたり, 破ったり, 汚したりしないこと。
8. この問題冊子の余白は, 計算などに利用してもよい。
9. 試験終了後, この問題冊子は持ち帰ること。

解答上の注意

解答はマーク式解答用紙にマークすること。

数値は必ず 2 ケタで解答すること。

例えば **ア** **イ** と表示のある所に解答する場合は, 次の(例)のように解答用紙のマーク例に従ってマークすること。

(例)

(1) 解答が 25 の場合

ア	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
イ	0	1	2	3	4	●	6	7	8	9

(2) 解答が 3 の場合

ア	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

(3) 解答が 0 の場合

ア	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

以下の に当てはまる数値を答えなさい。(結果だけでよい。)

- 1 2 次関数 $f(x) = -x^2 + 3x + 2$ がある。

(1) $y = f(x)$ は $x = \frac{\text{ア}\text{イ}}{2}$ のとき、最大値 $\frac{\text{ウ}\text{エ}}{4}$ をとる。

(2) 点 $(0, 6)$ から $y = f(x)$ のグラフに引いた接線は 2 本ある。その接線の傾きは、小さい順に、 $-\text{オ}\text{カ}$, $\text{キ}\text{ク}$ である。また、2 つの接点を通る直線の傾きは $\text{ケ}\text{コ}$ である。

2 (1) $\triangle ABC$ において、 $AB = 6$, $CA = 2$, $\angle CAB = 60^\circ$ であるとする。このとき,
 $BC = 2\sqrt{\boxed{\text{サ}}\boxed{\text{シ}}}$, $\triangle ABC$ の面積は $\boxed{\text{ス}}\boxed{\text{セ}}\sqrt{3}$ である。また, $\angle CAB$
の2等分線と辺BCとの交点をDとするとき, $AD = \frac{3\sqrt{\boxed{\text{ソ}}\boxed{\text{タ}}}}{2}$ である。

(2) $(\sin\theta + 3)\sin\theta + (\cos\theta + 4)\cos\theta - 1 = r \sin(\theta + \alpha)$ と書き直すとき,

$$r = \boxed{\text{チ}}\boxed{\text{ツ}}, \tan\alpha = \frac{\boxed{\text{テ}}\boxed{\text{ト}}}{3} \text{ である。}$$

3 (1) $\sqrt{x} = 3$ のとき, $x^{\frac{5}{2}} - 2x^2 = \boxed{\text{ナ}} \boxed{\text{ニ}}$ である。

(2) 方程式 $\log_2 x + \log_2(x - 6) = 4$ の解は, $x = \boxed{\text{ヌ}} \boxed{\text{ネ}}$ である。

(3) 赤いさいころと青いさいころを同時に投げるととき, 赤いさいころの目が青いさいころの目より大きくなる確率は $\frac{\boxed{\text{ノ}} \boxed{\text{ハ}}}{12}$ である。

(4) 初項 $a_1 = 3$, $a_{n+1} = 2a_n - 2$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で定められた数列 $\{a_n\}$ の第6項は $\boxed{\text{ヒ}} \boxed{\text{フ}}$ である。

(5) 2つのベクトル $\vec{a} = (3, -4)$, $\vec{b} = (-12, y)$ が平行となるとき,
 $y = \boxed{\text{ヘ}} \boxed{\text{ホ}}$ である。

4 3次関数 $f(x) = x^3 - 3x$ は $x = a$ で極大であるとする。また、 $y = f(x)$ のグラフを曲線 C とする。

(1) $a = -\boxed{\text{マ}}\boxed{\text{ミ}}$ である。

(2) 3次方程式 $x^3 - 3x - k = 0$ が異なる 3 個の実数解をもつような定数 k の値の範囲は $-\boxed{\text{ム}}\boxed{\text{メ}} < k < \boxed{\text{モ}}\boxed{\text{ヤ}}$ である。

(3) 曲線 C 上の点 $A (a, f(a))$ で C と接する接線は、点 A 以外にも曲線 C と共有点をもつ。その点の x 座標は $\boxed{\text{ユ}}\boxed{\text{ヨ}}$ である。

(4) (3) で考えた接線と曲線 C とで囲まれた部分の面積は $\frac{\boxed{\text{ラ}}\boxed{\text{リ}}}{4}$ である。

(問 題 終 わ り)